





稀觀本。國書總目錄仁見之寸



三之選序

書曰以禮制心味哉言也蓋禮  
之制心無不可制者但自用之  
表禮義揮地雖有賢者不獲所  
以制之術於是和倡治心安心  
祝老莊儒佛各道所見雖違於





古時之不可已也今夷考教  
家其理教高妙纖悉不遺佛氏  
之學斯為寂矣亦今人之所不  
可不知也濼君於八學究百家  
性學有問死生安心說者書以  
對焉其括諸家大要列眉不唐

且言徒論死生安心如仁澤不  
及物者佛老不容焉可謂規箴  
後學深切矣讀者不以之隅反  
之則焉知濼君之言折中於何  
物乎

寶曆四年冬十一月 長門秦守節



三の運序

予天性懶惰ラシクダハテ。徒イタダクハ年月を送ツク。犬馬イヌウマの齡ヨシ積ツクモ。  
 了シ。今幸イマニシラシク而立ツク不及ツク。ぬ。熟ツク思シひも。小人コトコの一生。  
 ハ白駒シラウマの涼ヒヤを過スる。造ツクハテ。沂水シと共トモ小待マテ子コ。  
 り。城シロ中ナカを。思シの乱ミダ心ココロを。傳ツク子コ。棘トゲの雪ユキを。頂ツクき。  
 盛サカと見ミ。一花ヒトハナも。つ。か。ま。糸イトの梢コノエ紅葉コノエして。寂サマシ乃ノ。  
 枯枝カラエと移ウツリろ。有涯ウツカイの身ミを。以モて。無窮ムクウれ。る。小託コタケを。  
 渺ヒヤシる。滄海ソウカイれ。一粟イツリスと。東坡トウパの云クワも。突ツクさる。る。り。  
 か。た。と。ひ。古希コキの齡ヨシも。む。る。今イマ四十年ヨシトセの。こ。ろ。



春乃秋の夢なるべし。富貴常華ハ苓通小むく。身後の名も生者の酒小志かきとめやや笑む。名を求め利と貪りて何うせん。ささるいへ人として事おさ。同一く朽果せん。滅乃人とやハ云へ。世の助人のたれも成てあは。天地の心も叶ひ。世小生んるか。ひとあゝめ。ささるとて数りぬ身の。いうて世の助とハかる。さ小節小物。急幅をおさめ。才を持つ。石佛乃如くして。愚者乃目を悦ばし。世俗の巻を買得るとも。人の為一文の銭小直ら。ささる貪る。

と救ひ之を小施さん。家と愁ある方便たす。人といひて小任せん。志か。学ひゆる場くと。世の人を借へ。獨得。樂と。心何ん人小告知せてん。自らが天地小背り。世小志。志り人か。と。夜半の燈火小白ひ。筆と吻りて。人此向小言へ。ゆるおかし。

享保戊午春

鶴臺山人序



























三三  
 傳心法要ハ縁ヲ遇テ應ト休息ト則寂  
 かなと云テ今ノ念断ルモ止まらざる未來ノ念  
 まゝ無ホト何モ是ヲ不生不滅と云心不生  
 涅槃ナリ。生死即チ涅槃ナリ。心不迷悟真妄  
 ナリ。煩惱即チ菩提ナリ。假ノ世ヲ常住ナリ。物  
 思ハレ古界ヲ安樂有ルと思ヒ人我ノ相ヲ立  
 け身ヲ淨キ物ト思ヒ心性乃源と云。常  
 樂我淨皆顛倒ナリ。悟道ト則け世此身と云  
 常樂我淨ナリ。是ト仏ノ口説トナル。教育家ハ

釋尊曰實相中道ハ  
 假中ノ一柱也。空ヲ  
 假中ニ置キテ中ノ  
 主トシテ階級トスル  
 のみナリ。其ノ經論  
 中ニハ如キ法多ク  
 ナリ。其ノ中ニ一柱  
 杖子あり。

空假中乃三諦。有門空門非有非空亦有亦空ハ  
 四門と立。一心之觀一念三千ナリ。極ノ名教階級  
 何れも平等ハ此之非實相中道ノ理不據テ  
 煩惱即菩提生死即涅槃と云極と密家ハ  
 諸法本不生乃理不據テ十界乃當所と云毗盧ノ  
 身土ト。凡夫ノ三業と即チ仏ノ三密と云る故ニ即  
 身成仏と云。禪家も總ホ文字云句に涉まら。妙  
 心ノ當所不何も階級と屬テ修行ノ日と云るハ  
 手ぬるニ云云。人ノ自覺此仏性ト見付テ成仏ガ

三三

七



故子。指人心。見性成佛。云。法家修之。の要。説あ  
れども。皆仏説なり。五時曰教。大衆お衆り。と云く  
る。別つ。といふ。眼。明。く。り。れ。も。皆。大。衆。り。眼  
か。く。れ。も。皆。小。衆。り。唯。有。一。衆。り。て。法。小。二。ハ。り。  
只。是。一。喜。り。人。根。小。利。純。り。の。修。行。の。あ。る。  
戒。定。慧。の。三。つ。小。り。戒。律。と。持。ち。禪。定。入。初。焉。と  
誦。く。なり。或。ハ。救。息。観。水。想。観。月。輪。觀。阿。字。観。り。  
乃。観。法。あり。或。ハ。經。と。讀。仏。名。と。唱。へ。か。し。て。惡。念  
を。断。つ。と。拂。ふ。方。便。と。す。仏。ハ。は。衆。摩。黃。金。の。膚。也。  
ハ。ガ。エ。

は西方十万億土。小。り。蓮。の。花。不。登。り。と。云。ハ。諸。方  
便。の。説。なり。地。獄。餓。鬼。畜。生。等。乃。六。道。也。極。小。衆。  
皆。一。心。の。不。現。あり。て。心。の。外。お。り。も。な。し。故。小。經  
ハ。此。不。遠。と。云。大。衆。曰。答。ハ。極。小。衆。無。想。也。なり。  
性。生。と。ハ。頓。悟。榮。明。の。名。なり。と。云。早。堯。の。不。ら。  
心。性。と。明。く。り。生。死。苦。樂。心。と。動。り。さ。る。早。堯。心  
不。平。と。さ。り。さ。る。は。ど。り。と。り。さ。る。心。一。て。なり。万  
事。不。執。也。なり。罪。業。と。結。ぐ。ぬ。と。安。心。と。さ。る。なり。依  
る。

轉。曰。既。眠。の。つ。か。る。後。ハ  
ま。せ。心。の。り。と。こ。り。と。さ。り  
み。て。も。さ。り。と。さ。り。と。さ。り  
心。有。心。と。さ。り。と。さ。り。と。さ。り  
と。後。は。多。く。と。さ。り。と。さ。り  
と。さ。り。と。さ。り。と。さ。り。と。さ。り  
か。は。回。激。さ。る。言。ある  
なり。



○老子莊子の道ハ因果の沙汰ナリ一切万物生死  
寿夭皆自然の理ナリ。天のなきも何れも  
我なきも何れも自生自死。是を物化と  
云。天地の内を如く四方を向く箱の如く。その内を氣  
遍満して自然に聚散する人となる。禽獸草木も亦  
自然に散りて形滅して残りざり。形を尽すと氣ハ  
尽す事なり。聚散する地の内を何れも散りて天地  
の内を何れも聚散する。我ハいつか換置なり。何  
れ候久。又何れ然るん。生るる亦吾身も一時節なり。

死る我体息する時節なり。死ぬると云ハ大なる  
家の内を何れも森入るるか如く。人の一生ハ夢の如く。  
吉凶禍福。多富多賤も亦夢なり。夢中も多岐  
見て。多吉凶と云ふ。亦夢なり。夢中も多岐  
天地此鑪造化乃冶工。陰陽此炭を以て。万物の銅  
を鑄出するなり。聚散定まり。變化則り。皆  
變化と云。如く小後里移るる如く。生るる者の死  
壯りる者の老。如く。菜虫乃蝶となる。鳩の鷹や  
あり。雀の蛤となる。類なり。人を生れぬ先ハいかなる







我と同躰一身なりと思ひて人をりだて。我身を譲る  
意少く。されといふ。此身の行りひ宜しく心正しく  
かても世と助る人此あり志なき人。吾邦の人  
か少く。賢人君子と云ふ。生死の源と悟り。心性  
を明く。あつても。元生。濟度乃志なきと。声聞心と云  
た。五逆十惡の罪人。成仏さるも。一度聲聞の  
見。墮ち。人。成佛なり。か。佛も説。おれ。道  
術と學ひ。長生不死の音と。明く。あつても。万劫一躰乃  
公。なり。我と云。私欲あつても。虚無自然の道。云

む。此。然。此。は。軌。道。乃。道。も。我。を。捨。て。世。を  
救。ひ。人。の。為。なり。と。才。一。と。い。は。公。好。ま。し。か  
と。く。生死安心此法も。益乃。玉。の。在。る。處。に  
進。む。行。又。行。る。事。も。の。の。修。業。の。仏。老。の。道。大。略。ハ  
有。し。通。小。の。一。と。云。は。家。と。乃。人。へ。の。為  
了。め。なり。



蔣詡が竹下の逕ハ塵外乃友唯二人ありて漫不許  
通于人ナリ。陶淵明が松竹菊此運也。別是一家乃  
乾坤をなして。或は危ふ邦を去り。或ハ不義の禍  
を食さず。高尚の棲ナリ。予が三逕ハ此ノ如シ。中華ハ  
聖人の道あり。黃帝老子の道あり。佛の道あり。  
黄老の道あり。昔より許由巢父下隨務光など乃  
如く。世を離れ。俗を絶。單つる老子莊子列子乃至  
あり。書を著して。其旨を述べ。静清を爲を宗  
とす。以て前漢乃文景帝の如く。其道を以て國



家と治り一人し何を。晋の代にや。虚無の空理。成  
 認ト。一統の凡俗をリヤ。支道林竺道生道安僧  
 肇の輩。皆清談小辯。老莊の文字をかり。仏理を明  
 せ。後世又道観。道士是小居。神仙不死の道。成  
 修。祈禱。過福と業と。青牛。大度。大洋海と。以  
 方。道教なり。間老莊の書と讀て。道と慕ふ人々。  
 仏道も。秦漢の時。粗中華小傳て。後漢の時。金  
 像。梵僧等も。後南北朝小。道大。弘。佛。帝  
 せ。道観。佛寺。道士。僧人。大。禪。佛。あり。抽。り。也。帝

小道釈の争ひ。北朝魏周の代。仏法と破滅せし。  
 皆道教を荷擔せし。佛者の仏法と破する。  
 梁の荀濟。唐の傅奕。韓愈等。是皆。昔。世  
 一。概。の論。小。宋。朝。乃。諸。儒。異。端。り。と  
 して。一向。小。論。破。せ。り。性。理。の。学。仏。法。小。似。り。る。  
 在。り。い。つ。の。道。も。末。流。小。む。り。て。ハ。弊。カ。き。る。能。ハ。ま。  
 ち。弊。の。と。奉。て。是。を。講。り。不。情。の。ま。り。り。る。一。  
 諸。子。百。家。孰。も。人。情。小。な。づ。り。物。理。を。推。て。建。立。し。  
 する。道。カ。何。と。短。く。と。捨。去。し。と。取。り。何。ん。と。益。



かりん。君小仕へ。又母小事。回天下を治り。家を整  
 へる。聖人乃道と云ふ。或ハ愚俗以  
 勸化。か。甲。一。姫嬢を誘ふ。地獄天堂の教も  
 何れ不可なり。或ハ世にやむ。又ハ時をいふ。年老  
 て家を譲り。勤むる業。若く。孝子。徒居。老人の佛の  
 身入。老荘の教と学ん。誠の樂なる。一。又ハ  
 方の儒者。六経をゆく。博く古今不通。一。一  
 人。一。道。を。世。小。行。子。子。難。く。一。孝の士大夫。松  
 葉。て。出家道士の類なり。何れ。一。道の回。一。

きを論。一。三教と一致。一。林子  
 が。見。一。心。一。人。一。好。む。一。各  
 一。一。一。一。一。一。載。一  
 誠乃運。一。一。



通俗西遊記勸化抄 近刻

審曆六年丙子仲春

皇都書林 博文堂 田中市兵衛梓



博文堂藏板目錄

古文孝經	漢孔安國傳 清家藏板	全冊	南郭先生燈下書	全冊
書經古注	漢孔安國註	全十冊	弁州四部稿選	吳郡王元美著 文部
詩經古注	漢鄭玄箋	全十冊	弁州詩選	吳郡王元美著
禮記古注	漢鄭玄注	全十冊 未刻	弁州尺牘	吳郡王元美著
周易古注	魏王弼注	全五冊 未刻	古今尺牘翰海	陳眉公選
論語義疏	梁皇侃疏	全十冊 近刻	穆天子傳	晉郭璞注
韓非子全書		全十冊	漢武內傳	漢班固著
文章緣起	梁任彦章述 詔園藏板	發行	飛燕外傳	漢伶玄著

同上



恕菴先生詹言 松岡玄達選

全二冊 外臺秘要

唐王憲山照菴壽院藏板

發行

職人盡歌合

全三冊 金匱玉函經

唐王叔和撰 清水成美堂藏板

發行

賈子新書 漢賈誼著

全三卷 三雅摭言

全二卷

崔豹古今注

全三卷 三乃運 長門隴先生著

全一卷

初學記 唐徐堅撰 近刻

全三卷 舟州尺牘紀要 道齋先生

全二卷

灞城新著 周南先生及長門諸名家文

全一卷 通俗西遊記勸化抄 近刻

二條通柳馬場西八町

皇都書林

丸屋市兵衛



